

5 水とかんきょうを守る

(1) 水道水源林を守る

水道水源林を守るために、水道局ではどのような仕事をしているのでしょうか。

水道水源林には、次のような働きがあります。

- 水をたくわえる。
- 水をきれいにする。
- 土砂が流れ出るのをふせぐ。
- 空気をきれいにする。
- さまざまな生き物を育てる。

多摩川の上流にある水道水源林は東京都だけでなく山梨県にも広がっています。水道水源林の面積(約 240 平方キロメートル (km²))は新宿区(約 18km²)の約 13 倍で、東京都全体(約 2189km²)の 9 分の 1 に当たります。



水道局の人の話



わたしたちは、木がよく育って、森がたくさん水をたくわえられるようにするために、暑い日も寒い日も山に入ります。そして、それぞれの山で木を何本か切つてどの木にも日が当たるようにしたり（間伐）、枝を切ったり（枝打）、下草をかったりするために、必要な調査を行っています。大変なときもありますが、水道水の源を守る大切な仕事ですから、みんないっしょけんめい取り組んでいます。

また、水道水源林をおとずれる人たちに、森林の働きと自然を守ることの大切さを知ってもらえるように「水源地ふれあいのみち」を3コースと、「奥多摩湖いこいの路」をつくりました。



▲手入れ前の暗くて成長が悪い森林



▲間伐



▲枝打



▲手入れ後の明るくて木がよく育つ森林

水源地水源林の中のふんわりやわらかな土の上を歩くことができるよ。たずねてみよう。



▲水源地ふれあいのみち（ブナのみちコース）



▲奥多摩湖いこいの路